



### ●アンケート

ワークショップに参加してみて

- ・十分に意見が言えた 15名
- ・少しは意見が言えた 13名
- ・あまり意見が言えなかった 2名
- ・その他 0名

### ③ 各ゾーンごとにイベントの人気投票を行いました

●広場	
スカイフェスタを中心に!! (A)	19
雅楽の会 (C)	5
飛行機とばし会 (E)	5
●遊水池	
イルミネーションで飛行機にアピール (B)	13
マリンスポーツの体験学習 (C)	7
釣り大会 (全体を使って) (E)	6
仮設ステージ (A)	4
●人工海浜	
びっくり宝探し (A)	11
ビーチバレー等のイベント (D)	9
花火大会の復活 (E)	9

# ニュースレター VOL.

## 月見ヶ丘海浜公園ワークショップ 2004

設計と運営をみんなで考えよう!



このニュースは、月見ヶ丘海浜公園ワークショップ2004の内容をお伝えするものです  
 検討されたこと、参加されたみなさんの声、次回の予定などを毎回お届けします



### 第2回ワークショップ・レポート

- とき 平成16年7月24日(土) 午後1時30分～午後4時30分
- ところ 松茂町総合会館 2階会議室

今回は模型を使って  
公園の全体像を見て  
いただきました



#### ステップ 1 はじめに

今日のワークショップの目標とプログラム内容について説明しました  
 前回のワークショップ成果とまとめの方法について説明しました  
 前回のワークショップでの質問に対する回答シートの掲示について説明しました

#### ステップ 2 ガイドラインの振り返りと設計者の話を聞こう!

ガイドラインに示されたイベントに関連する各ゾーンの空間パターンを振り返りました  
 ガイドライン策定時に指摘を受けた事項とその対応について参加者の理解を求めました  
 設計者から、空間パターンの解釈と設計課題を説明し、参加者に検討して欲しい事項を提示しました

#### ステップ 3 メインイベントを考えてみたい場所を選んでみよう!

イベントが開催できる5つのゾーンを簡単に説明しました  
 参加者は直感的に公園のメインとなるイベントをしたいと思うゾーンを選びました  
 旗揚げアンケートにてタイプ別の集計を行い、タイプ毎のグループ分けを行いました

#### ステップ 4 イベントプログラムづくりをしよう!

グループ毎に、どんなイベントをしたいかを述べながら自己紹介をしました  
 進行役よりイベントプログラムシートと作業内容について簡単に説明しました  
 イベントの参加者や運営者の立場になりながら意見を出し、シートを完成させました

#### ステップ 5 各グループのイベントプログラムをPRしよう!

参加者の前で、各グループのイベントプログラムシートの内容を発表しました  
 発表は意見を紹介するだけでなく、セールスポイントについて積極的にPRをしました

#### ステップ 6 各ゾーンの「望ましい姿」をみんなでイメージしよう!

発表の結果から、各ゾーンに必要な空間パターンや運営パターンを整理し、イベントを開催する時の各ゾーンでの「望ましい姿」をイメージしました  
 次に、「どのイベントに参加してみたいか?」の旗揚げアンケートをしました  
 最後に今日の感想を旗揚げアンケートで確認しました

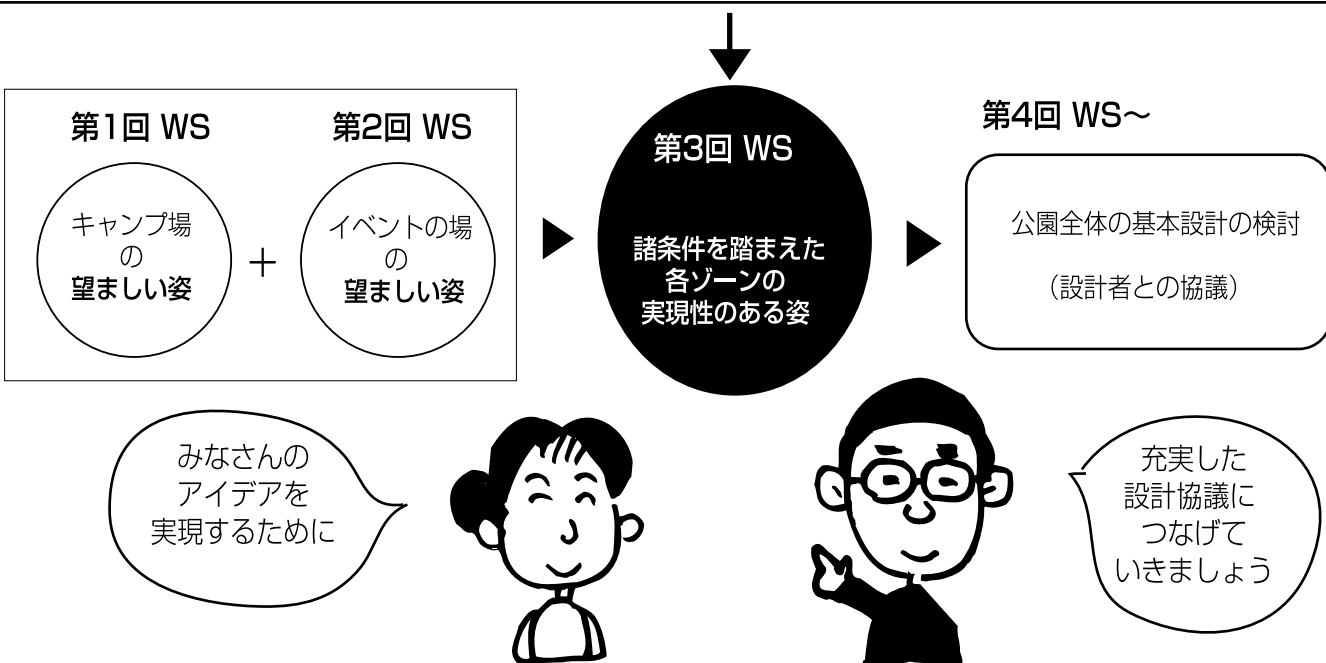


●旗揚げアンケートの様子

### ワークショップの流れと、これからの予定

- 第1回ワークショップでは、公園づくりのテーマの一つである「友人やペットと共に野外活動を楽しむことのできる公園」の核になるキャンプ場の望ましい姿をみんなでイメージしました。
- 第2回ワークショップでは、公園づくりのもう一つのテーマである「多くの人が集まり、いろいろなイベントやスポーツができる公園」の核になる遊水池、人工海浜、広場等の望ましい姿をイベントプログラムづくりを通じてみんなでイメージしました。

● そして、第3回ワークショップでは、前2回のワークショップの成果を踏まえ、前提条件や設計条件を理解した上で、各ゾーンの実現性のある姿イメージし、みんなで合意をして、第4回以降の設計者との協議につなげていきたいと考えています。



### お問い合わせ

ワークショップについてのお問い合わせはこちらどうぞ

特定非営利活動法人 コモンズ

tel: 088-652-7666 (担当: 笠井)